

運動会が無事終わりました！ ご協力有難うございました！

先週土曜日に本校の運動会が無事終わりました。保護者の皆様方には P T A の運営委員の方々をはじめとして、受付業務のお手伝いや場内整理、或いはご来場いただいた際には入校許可証を常に着用していただくなど、学校行事として運営が安全にかつ円滑に実施するために様々なところでご理解、ご協力をいただき心から感謝しています。

また、各学年の競技や団体演技も滞ることなく進行することができました。

何よりも、どの学年の子どもたちも持っている力を精一杯発揮して頑張ってくれたと思います。

閉会式で朝礼台に立って講評をしたときに話しましたが、今年の子どもたちの競技や演技に関して共通して言えることは、どの学年の子どもたちも『心から楽しんで』、『笑顔で』演技に取り組んでいたことです。低学年の団体演技のダンスでは、練習のときからそうでしたが、子どもたちが体で自然にリズムを刻みながら踊っている姿が最高でした。また、中学年のダンスではこの先、高学年の組体操のような団体演技につながっていくような高度な「振り」を含んでいるのですが、見事に完成度の高いものとして披露してくれました。彼らもそのイキイキとした表情がとても印象的でした。

応援合戦、気合！！



高学年の「組体操」は、5年生、6年生の一人ひとりが力を合わせ、助け合い、様々な場面や技を創り上げ、それが「チーム」となって一体化していきました。体育館の練習が始まった最初の頃からは想像もできなかったような、素晴らしい「作品」として完成した姿を当日披露してくれました。

これら各学年のそれぞれの「チーム」としての取り組みとそれに関った子どもたち、先生たちの熱意がさらに一つになって、豊南小学校という『チーム』としての運動会へとつながっていったのだと思います。

そして、そこには各競技や演技を通じて子どもたちを応援して下さった保護者の皆さんの温かい気持ちと、また、会場を安全に、気持ちよく使うことができるように清掃や除草をおこなって下さった、P T A の方々、学校の用務員さん、

或いは、開催中ずっと休む間もなく警備にあたっていただいていた警備員さん、勿論、会場の設営や様々な準備を放課後や、朝早い時間を使っておこなってくれた先生たち、これら豊南小学校に関するすべての人たちの心がひとつになって、この運動会を無事終えることができたのだと、今改めて感じています。おそらく、閉会式のとき、子どもたちだけではなく、先生や保護者の方々も『温かい気持ち』が胸にこみ上げてきたのではないのでしょうか。これが「感動」というものだと実感したところです。

たくさんのご来賓の方々がお越しいただきましたが、その中で大変お忙しい中にも関わらず朝早くから来ていただいた、豊中市教育委員会の船曳教育委員が、競技する子どもたちや、進行を支えている先生たちの姿をご覧になっておっしゃった「子どもたちも先生たちも、とても楽しそうで一生懸命取り組んでいるのが何より素晴らしいです。」という言葉が今述べてきたことを物語っていると思います。

本校は小規模校ですが、小規模校にはそれなりの「良さ」があります。以前、校長室だよりで書いたことがありますが、私の好きな言葉に『小さな学校、大きな家族』という言葉があります。学校としては小規模であっても、学校に関するすべての人が『家族』だと考えると、それはそれは「大きな家族」になります。そして、その家族が様々な場面で協力してお互いを支え合い、少しずつでも前へ進んでいくことができる。そんな学校でありたいという思いを今回の運動会の取り組みを通して、気持ち新たにしました。

子どもたちは、皆それぞれの気持ちをしっかりと持ってこの運動会に臨み、余すことなくその力を発揮してくれました。お家でも、子どもたちを精一杯褒めてください！

この経験が、子どもたちの次の取り組みへの大きな原動力をなるのです。

保護者の皆様方もどうかこれからも、一緒に子どもたちをしっかりと見守って行ってください！ よろしく願いいたします！